

## エネルギーポスト E1500/P840

# ご購入の前に

---

## 目次

エネルギーポスト E1500 と P840 .....	1
E1500 の設置場所について .....	2
P840 の設置場所について.....	3
適合電気配線と PF 管 .....	4
基礎工事と給水・給湯配管.....	5
製品外観図 .....	6

---

エネルギーポストに関する詳しい情報は、「エンブレムポスト／エネルギーポスト」ホームページをご覧ください。

<http://www.ios-post.com/>

こちらのダウンロードコーナーから、下記の資料がダウンロードいただけます。

- E1500 エントランス用施工説明書
- E1500 エントランス用取扱説明書
- P840 カーポート用施工説明書
- P840 カーポート用取扱説明書
- エネルギーユニット組立説明書 (E1500/P840 共通)
- E1500 外観図
- P840 外観図

その他ご不明な点がございましたら、ナカシマプロペラまでお問い合わせください。

〒709-0625 岡山市東区上道北方 688-1

ナカシマプロペラ株式会社 イオス開発グループ

TEL:086-279-5115 FAX:086-279-5154

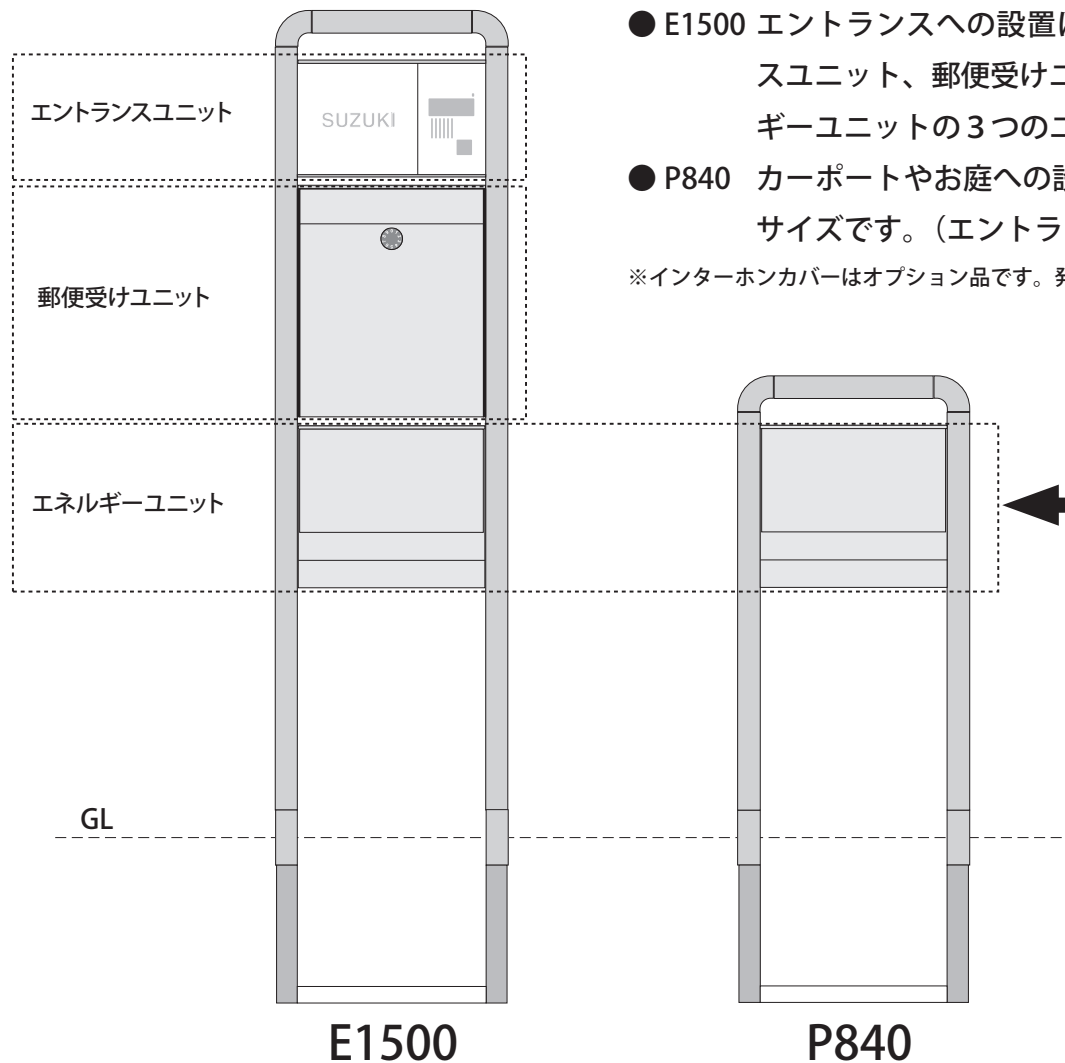
E-mail:ios@nakashima.co.jp

# エネルギーポスト E1500 と P840

## エネルギーポストには2つの機種が存在します。

- E1500 エントランスへの設置に対応した E1500 は、表札・インターホン内蔵するエントランスユニット、郵便受けユニット、EV（電気自動車）用コンセントや水栓を内蔵するエネルギーユニットの3つのユニットで構成されます。
- P840 カーポートやお庭への設置を目的とした P840 は、エネルギーユニットのみのコンパクトサイズです。（エントランス、郵便受けユニットの後付けはできません。）

※インターホンカバーはオプション品です。発注時にインターホン子機の品番をご連絡ください。



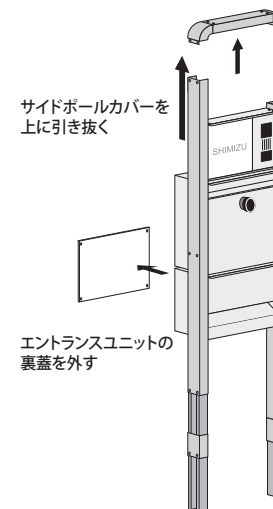
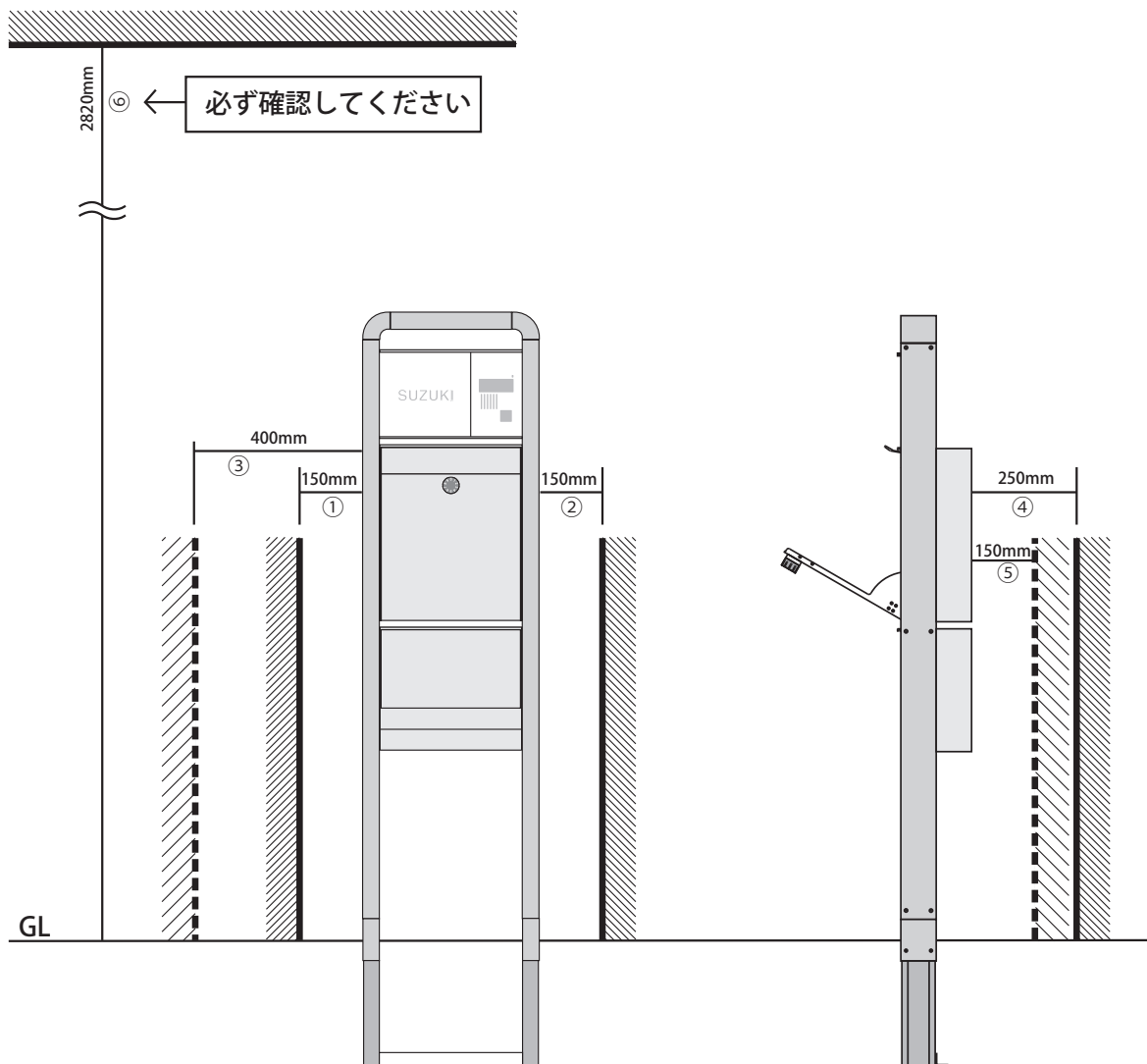
エネルギーユニットに内蔵可能なコンセント、水栓の組み合わせは、この10通りです。エネルギーポストで発注時にご指定ください。

	EV200V (EV100V)	通常 100V	単水栓	混合栓
EU-01	●	●		
EU-02	●	●	●	
EU-03	●		●	
EU-04	●			●
EU-05		●	●	
EU-06		●		●
EU-07	●			
EU-08		●		
EU-09			●	
EU-10				●

他にオプションとしてLED 足元灯+明暗センサーを内蔵することができます。

# E1500 の設置場所について

【ご注意】 エネルギーポストは寒冷地に対応していません。

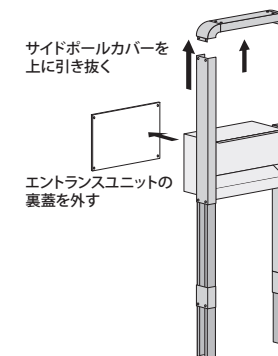
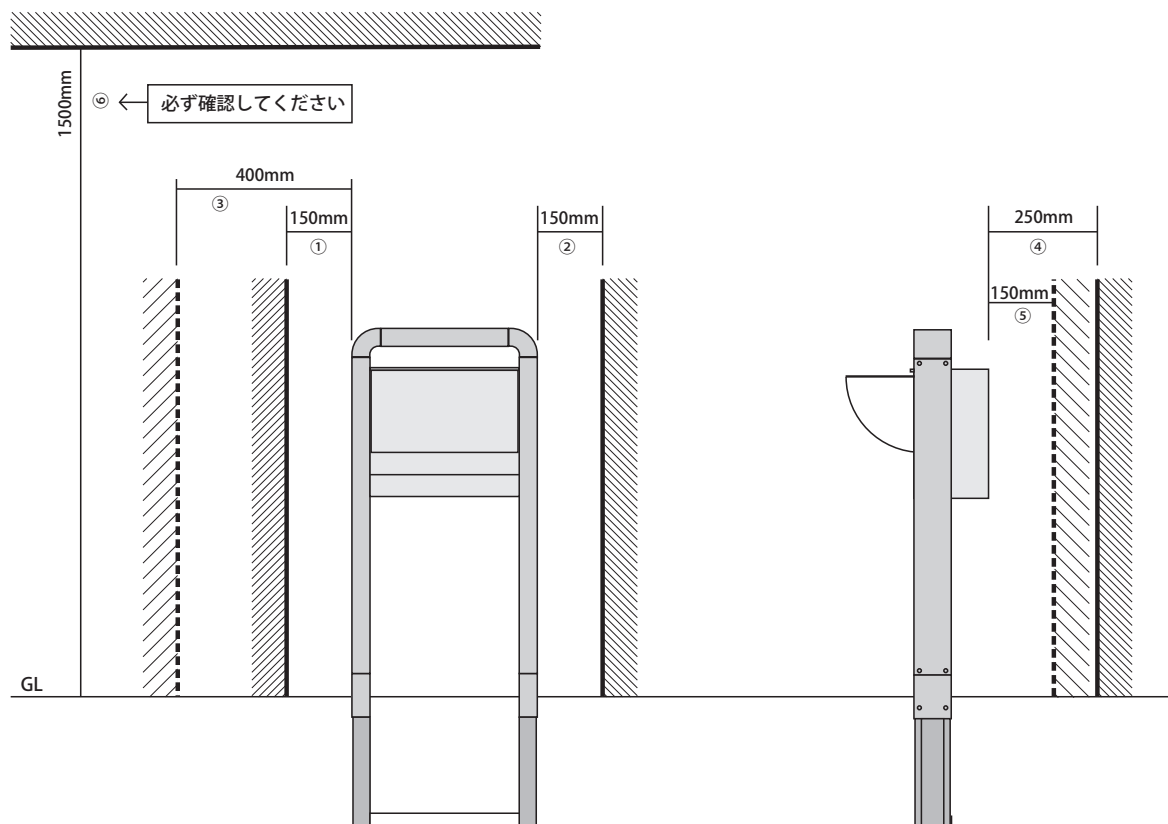


- ①②：左右サイドポール内の電気配線、給水給湯管配管のため、150mm あけてください。給水・給湯配管を使用しない場合は向かって右側の②は 50mm で十分です。
- ③： 背面に壁がある場合は、背面にアクセスするため左右いずれか一方に 400mm の空間が必要です。
- ④： 背面側からエネルギーユニット内配線・配管作業をおこなうため、ポスト背後に 250mm の空間をご用意ください。（上図参照）
- ⑤： 水栓を内蔵しない場合には、壁までの距離は 150mm で十分です。
- ⑥： サイドポールカバーを上をスライドして取り外すため、ポスト上部設置場所の天井は 2820mm の高さが必要です。（上図参照）

※埋め込み施工については、P.5 の図を参照してください。

# P840 の設置場所について

【ご注意】 エネルギーポストは寒冷地に対応していません。



- ①②：左右サイドポール内の電気配線、給水給湯管配管のため、150mm あけてください。給水・給湯配管を使用しない場合は向かって右側の②は 50mm で十分です。
- ③：背面に壁がある場合は、背面にアクセスするため左右いずれか一方に 400mm の空間が必要です。
- ④：背面側からエネルギーユニット内配線・配管作業をおこなうため、ポスト背後に 250mm の空間をご用意ください。(上図参照)
- ⑤：水栓を内蔵しない場合には、壁までの距離は 150mm で十分です。
- ⑥：サイドポールカバーを上をスライドしてとりはずすため、ポスト上部設置場所の天井は 1500mm の高さが必要です。(上図参照)

※埋め込み施工については、P.5 の図を参照してください。

# 適合電気配線と PF 管

内蔵機器等	定格	電線	PF 管	備考
EV 200V コンセント	250V/20A	VVF 2.0-3C	呼径 16 (外径 φ 23)	EV 用コンセントは、200V、100Vのうち、どちらか 1 台のみ内蔵可能です。
EV 100V コンセント	125V/15A			
通常 100V 2口コンセント	125V/15A	VVF 1.6-3C	呼径 16 (外径 φ 23)	100V 2口コンセント用の電源線と、LED 用の電源線は同一の PF 管にて入線してください。 足元灯・表札バックライトのうち 1 個のみ使用した場合の消費電力は 0.73W です。
LED 足元灯・表札バックライト (*1)	1.45W(100V)	VVF 1.6-2C		
インターホン子機 (*1)	-	信号線	呼径 16 (外径 φ 23) 以下	
本体アース	-	アース線	-	

(\*1) 表札バックライトおよびインターホン子機は、E1500 のみに対応しています。

## ■ EV200V コンセントをお使いの場合

EV 充電用コンセントの回路は専用分岐とし、200V 20A 漏電ブレーカー (感度電流 15mA) を設置してください。

また、盗電防止用に屋内スイッチを設けるときは、200V、20A 対応のものを選択してください。(推奨機種: パナソニック電工 WTC5261W01、WTX52631S01)

## ■ EV100V 用の配線について

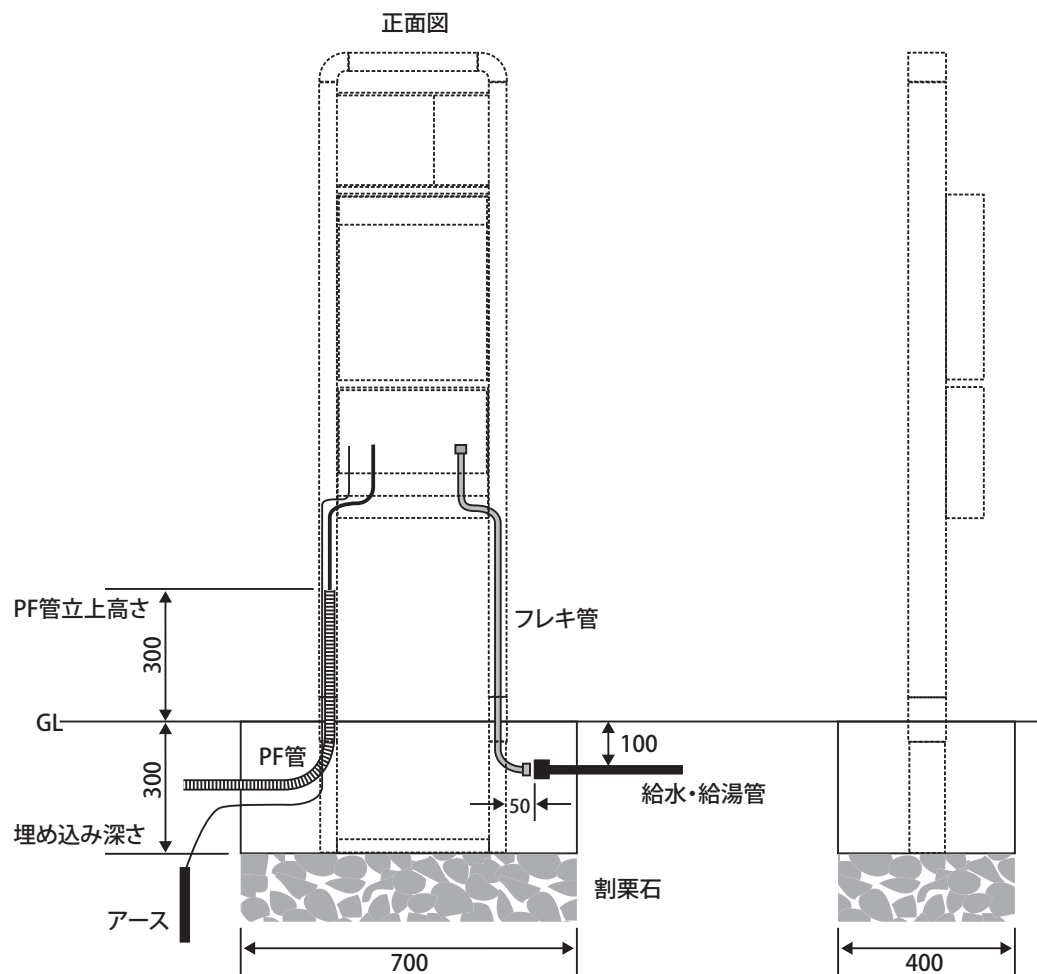
コンセントの定格は 125V/15A になっていますが、配線は必ず φ 2.0 のものをご用意ください。コンセント裏側の差し込み口が、φ 1.6 には対応していません。

- EV コンセント用電源、100V コンセント用電源、LED 足元灯用電源は、それぞれ別の配線でおこなってください。
- EV コンセント、および 100V コンセントには必ず漏電ブレーカーを設置してください。漏電ブレーカーは付属していません。
- 足元灯、表札バックライトのメンテナンス用に、専用の手元スイッチもしくは独立したブレーカーを設置してください。手元スイッチは付属していません。
- インターホン子機は付属していません。 別途お買い求めください。また、親機～子機の信号線は付属していませんので、インターホンの施工基準に適合したものを別途ご用意ください。
- コンセント用のアース線以外に本体アースを取って下さい。アース線、アース棒は付属していませんので、別途ご用意ください。
- PF 管、VVF、インターホン信号線、圧着スリーブは付属していません。

## ■ EV コンセントについて

EV コンセントはパナソニック電工製の WK4322S (200V)、WK4311S (100V) を使用しています。電気自動車側での対応については、各自動車メーカーにご確認ください。

# 基礎工事と給水・給湯配管



E1500の図で説明していますが、地中部分の施工はP840も同じです。

## ■基礎工事

ポストの埋め込み深さは、300mmです。基礎工事については、右図を参照してください。

## ■左サイドポール（電気配線）

PF管およびアース線は、左サイドポールの中を立上げ、電線・アース線は、サイドポールの穴からエネルギーユニット内部に挿入されます。

本体アースをかならず施工してください。アース線は、左サイドポールの中を立上げてエネルギーユニット内部のアース端子に接続されます。アース線とアース棒は本製品に付属しておりませんので、ご用意願います。

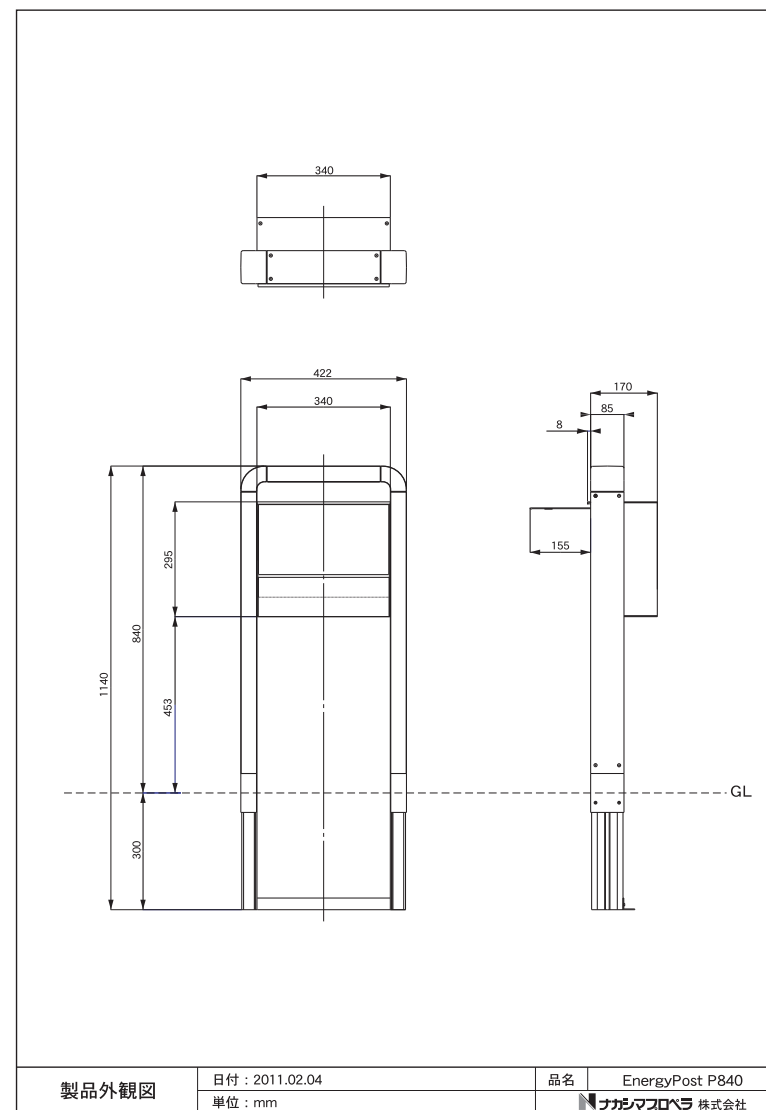
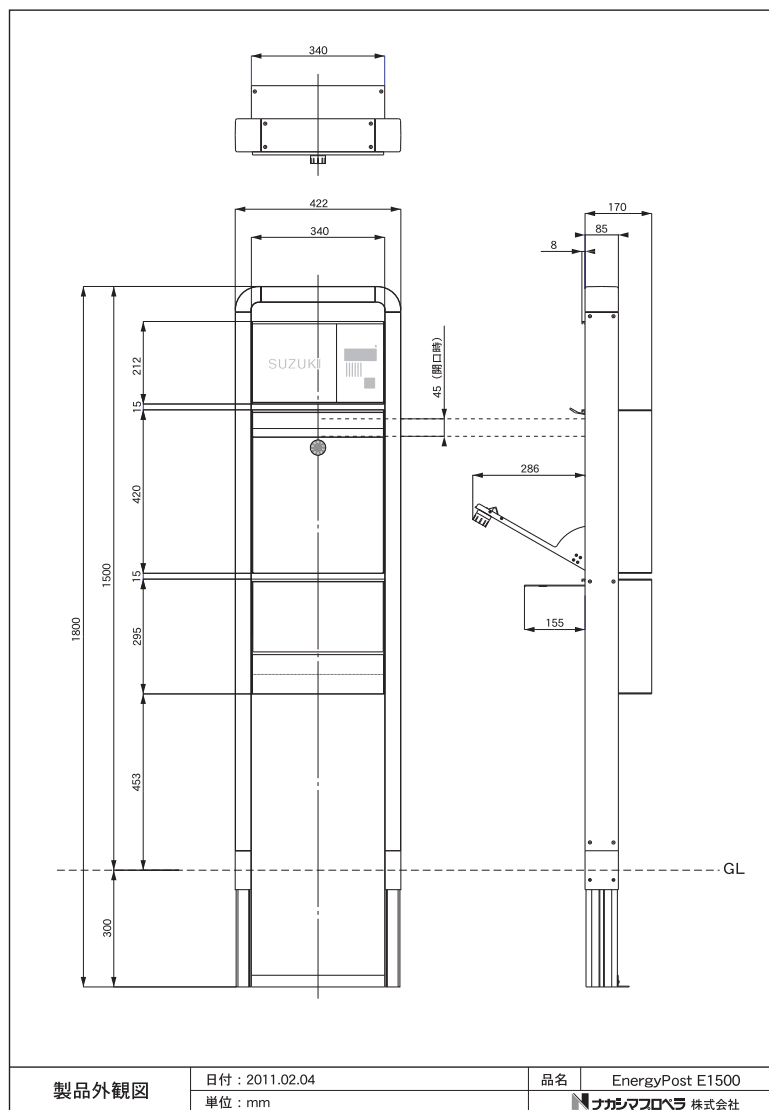
## ■右サイドポール（給水・給湯管）

給水・給湯管を右サイドポール下部から出ているフレキ管に接続してください。地中に埋まる接合部は、防食テープで処理してください。（フレキ管は本体に付属しています）

なお、フレキ管のネジの仕様はG1/2になっていますので、必要なアダプタなどをご用意ください。

（フレキ管以外の給水給湯用配管材、アダプタ、防食テープ、シールテープ、接着剤等は付属していません。）

# 製品外観図



※ A4 サイズ製品外観図 (PDF ファイル) は、「エンブレムポスト／エネルギーポスト」ホームページの「ダウンロード」コーナーよりダウンロードいただけます。